記者発表資料

平成２４年１１月２９日
国　土　交　通　省
仙台河川国道事務所

三陸縦貫自動車道　石巻河南ＩＣにおいて遠隔操作可能な東北初のエアー遮断機の試行運用開始・現地説明会を開催

三陸縦貫自動車道では、震度５弱以上の揺れを観測した場合や、交通事故発生等により、通行車両に２次災害が発生するおそれがある場合などの緊急時において、通行止め措置を行い交通の安全確保を図ることとしております。

このことから、関係機関（宮城県警察、宮城県道路公社、国土交通省東北地方整備局）による調整を行い、三陸道を利用する方々の安全を確保するため、遠隔操作可能なエアー遮断機を試行的に石巻河南ＩＣに設置し、１２月３日より運用開始することとなりました。

今後は、試行的に設置したエアー遮断機の問題・課題を整理し、他のＩＣへの設置を図っていくものです。

このたび、遠隔操作等による稼働運転について、報道機関に対する現地説明会を下記のとおり行いますのでお知らせいたします。

※遠隔操作のエアー遮断機とは、カメラでモニター監視しながら、出張所等にあるパソコンの操作で遮断機（バルーン）にエアーを送って操作するものである。
※エアー遮断機が稼働している場合、現地に交通誘導員がいない場合がありますので、安全確認の上、転回スペースにおいて転回していただき一般道へ迂回していただきますようお願いいたします。

記

１．説明会日時　：　平成２４年１２月３日（月）　１０時～

２．説明会会場　：　三陸道維持出張所前（三陸道　石巻河南ＩＣ）

３．説明会内容　：　遠隔操作による稼働運転
　　手動操作による稼働運転

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、石巻記者クラブ＞

＜問い合わせ先＞

国土交通省　東北地方整備局

仙台河川国道事務所　三陸道維持出張所　所長　本木（もとき）　雅信（まさのぶ）

電話：0225-96-7651

■現地説明会会場



■エアー遮断機の稼働状況

